

平成26年4月22日

上ノ国町議会議長

若狭 大四郎 様

氏名 佐藤 義秋



平成25年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成25年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 政務活動報告書

### 1 政務活動名

水産・農業の調査研究

### 2 政務活動内容

(1) 平成26年2月12日

秋田県水産振興センター

(2) 2月13日

秋田県大潟村あきたこまち生産者協会

### 3 政務活動成果

(1) 秋田県水産振興センターでは、魚介類の種苗放流、水産資源調査、藻場調査、資源環境調査等の試験研究を行っています。ハタハタ資源を捕り過ぎて枯渇したため漁業者同士協力し3年間禁漁したそうです。現在は、「つくり育てる漁業」を推進しており、種苗を効率的に生産し、水産資源の生産性を高めています。センターではハタハタ、ヒラメ、マダイ、アワビ、アユなどの種苗放流のための試験棟、管理棟、貯水槽などそれぞれの説明を受け、ハタハタ資源については特別に力を入れて増殖している。

(2) 大潟村あきたこまち生産者協会は、昭和62年に設立され、米の生産から発芽加工、製粉、製麺など一貫体制の会社で米を主に6次産業化事業に発展した企業であります。精米工場、発芽玄米工場、食物アレルギー専用工場、製粉工場、米麺工場、炊飯加工工場などそれぞれの製品ごとに工場があり、H15年発芽玄米、H22発芽パスタ、発芽玄米マカロニ等々、数々の製品を加工。放射性物質測定、残留農薬測定など安全安心の検査も行っていました。また、新商品として、甘酒や日本酒の糖化技術を用いて米デンプン糖を製造し、米デンプン糖を使用した、米キャラメル、米アイス、米ジャム等の開発を行っています。原料生産から加工販売までのメリットとしては米粉及び米粉加工品すべてを工場加工・製造することでコストダウンを図り、消費者が求めやすい価格設定を行えることだそうです。さらに、インターネットを利用して情報発信だけでなくフェイスブック、ツイッターを用いてリアルタイムで消費者のニーズを把握している。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

(3) 男鹿真山伝承館（なまはげ館）国指定重要無形民俗文化財

男鹿真山伝承館は男鹿地方の典型的な曲家民家で、古い伝統としきたりを受け継いでいる真山地区のなまはげ習俗を体感できる学習講座が用意されていました。館長の説明を受けながらの調査でした。なまはげの面もいろいろあり、その地域、場所により歴史の重みが違うのだそうです。真山神社境内に館があり、なまはげゆかりの地なのだそうです。なまはげの衣装は主にワラ細工であり、実際に体験できる施設も用意してありました。

(4) 立佞武多の館

1996年に市民有志の方々が22mの巨大なねぶたを復元。立ねぶたと命名し、1998年より祭りの名を、五所川原立佞武多として90年ぶりに復活したそうです。館の中では、巨大スクリーンにハイビジョンの大画面と迫力のサウンドで上映されていました。巨大ねぶたが二基ありました。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

秋田県水産振興センター



大潟村あきたこまち生産者協会

